

JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さまへ

2018年10月26日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の間合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会にて審査され、病院長の承認を受けて行われます。

① 研究計画名	認知機能低下患者における脳 MRI 検査の取り組み		
② 研究責任者	氏名	山崎 裕介	所属 放射線部
③ 研究の目的・意義	<p>【目的】本研究では、65歳以上で認知機能低下疑いのある患者に脳MRI検査を施行する際、現在行っている頭部固定法を行うことで、以前の頭部固定法よりも患者の体動を抑制できているかを比較検討し、画質の劣化防止に期待できるかを明らかにする。</p> <p>以前行っていた頭部固定法は、検査中に患者の頭部を収める器(以下、ヘッドコイル)と患者頭部の間に生じてしまう隙間に柔軟性のあるスポンジを敷き詰めて頭部を固定していた。現在行っている頭部固定法は、患者頭部をヘッドコイルに収めた後に真空固定具を隙間に敷き詰めてから固定する方法である。真空固定具は、吸引器により内部を陰圧にすることで固まる袋状の固定具である。</p> <p>【意義】MRI検査は検査中に身体を動かしてしまうと画質が劣化する。特に認知機能低下疑いのある患者は、MRI検査中に身体を動かしてしまうことは少なくない。本研究では、新しく発案した頭部固定法で脳MRI検査を行い患者の体動抑制が見込めれば、より診断価値の高い画像を医師に提供することができる。</p>		
④ 研究期間	(倫理審査承認後) ~2019年3月31日		
⑤ 対象となる患者さま	2018年1月4日~2018年9月26日の期間に認知機能低下疑いで脳MRI検査をした65歳以上の患者さま(2018年5月の検査は除く)		
⑥ 利用する試料・情報	<p>電子カルテより以下の情報を利用します。</p> <p>【年齢、MRI画像、解析により算出した脳萎縮の程度を表す数値、認知機能検査の結果・臨床所見、検査時に行った頭部固定法の手法】</p>		
⑦ 利用する者の範囲	上記の試料・情報は、群馬中央病院にて研究責任者と研究分担者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。		

⑧情報の管理	<p>使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。</p>			
⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口	対応者氏名	山崎 裕介	所属	放射線部
	TEL	027-221-8165		